

令和3年度 | 特定健診・がん検診のご案内



今年度の特定健診・がん検診は、**事前予約が必要です**。予約は、送付した案内に同封の申込書を町健康福祉センターに提出するか、電話にてお願いします。予約後に、各種問診票、特定健診受診券、予約票を送付します。

予約・問合せ先 / 町健康福祉センター（電話 72-1852）

【集団健診】	対象者	検査項目	料金
胃がん検診	40歳以上 (昭和57年4月1日より前に生まれた人)	バリウム検査(胃エックス線撮影)	700円
肺がん検診		(追加)ピロリ菌検査 ※1	無料
大腸がん検診		胸部レントゲン ※2	100円
大腸がん検診		便潜血反応検査(2日法)	100円
肝炎ウイルス	40歳以上	血液検査	200円
前立腺がん検診	50歳以上の男性	PSA値の測定(血液検査)	200円
特定健診	国民健康保険加入者 後期高齢者医療保険加入者 他保険被扶養者(※3)	身体計測、検尿、血液検査、血圧、腹囲、診察、心電図など	500円
(追加) 風しん抗体検査	令和3年度に43歳～59歳になる男性でまだ風しん抗体検査を受けていない人	特定健診時の採血に追加で血液採取 (無料クーポンを持参してください)	無料

※1 今までピロリ菌検査を受けたことがない人のみ(65歳まで)。胃がん検診(バリウム)の受診が必須です。過去にピロリ菌の除菌をしたことがある、胃潰瘍の薬を服用している人は対象外です。

※2 65歳以上の人は肺がん検診と併せて結核検診を行います(追加費用なし)

※3 協会けんぽなどの他保険被扶養者の人も特定健診を受診できます。保険者から届く受診券を会場まで持参してください。ただし、自己負担金は、他保険が受診券に定めている額になります。



【受付時間】午前8時30分～午前10時(指定された受付時間にご来場ください)

▼対象地区以外の日程でも受診可能です。予約時にご相談ください。

検診日	会場	対象地区
6月2日(水)	山村開発センター	根雨1・2・3・4・6区、舟場
6月3日(木)		津地、安原、下榎1・2区、野田、上本郷、下本郷
6月22日(火)		根雨5区、貝原、高尾、後谷、金持、板井原
6月28日(月)		濁谷、門谷、秋縄、三土、榎市、小原、別所、三谷1・2区
7月2日(金)	町公民館	黒坂5・7区、久住、下黒坂、根妻
7月5日(月)		黒坂1・2・3・4・6区、下菅
7月30日(金)		下・中・上上菅、井ノ原、諏訪、漆原、下福長、近江、畑、小河内、布瀬谷、中菅、中菅中央

【個別検診】	対象者	期間	医療機関	料金	役場への連絡
胃がん内視鏡検診	50歳以上	令和4年3月31日(木)まで	▼日野病院 ▼江尾診療所	1,200円	必要
大腸がん検診	40歳以上	令和3年6月2日(水)から 7月30日(金)まで	▼役場窓口にて 検査キット配布	100円	
子宮がん検診	20歳以上	令和4年3月31日(木)まで	▼日野病院 (火曜のみ)	700円	

◆胃がん内視鏡、子宮がん検診申込者には、病院へ持参する問診票を送付します。

◆医療機関への予約は、直接行ってください(役場への連絡は予約後でも可)

▶▶ 日野病院 電話 72-0351
江尾診療所 電話 75-2055

第53回 今では誰もがかかる病気—高尿酸血症—

日野病院 病院長 孝田 雅彦

日野病院の孝田雅彦病院長が、さまざまな病気や健康について、その予防法や健康に過ごすための豆知識などお役立ち情報をお届けします。



痛風などさまざまな病気を引き起こす高尿酸血症

痛風と聞くと、お金持ちでグルメの男性がかかる病気と思つていませんか？

痛風は、主に足の親指の関節に起こりやすく、関節の中に尿酸の結晶ができ、激しい炎症を起こしたものです。風が吹いても痛いというぐらい、激しい痛みがおこります。

もともとは、血液中の尿酸値が高いことが原因です。高尿酸血症は痛風を起こすだけではなく、血管に炎症を起こすことで、動脈硬化を促進させ、脳卒中や心筋梗塞、腎障害、尿路結石を

引き起こします。

尿酸値上昇の原因を把握し高尿酸血症を予防しよう

では、血液中の尿酸を上昇させる原因は何でしょうか。主に、肥満、プリン体の多い食品、果糖、飲酒、激しい運動、慢性腎臓病（CKD）が代表的原因です。

まず、肥満では、男性や閉経後の女性に多い内臓脂肪型肥満が問題です。カロリー制限、適切な運動で体重を減らしましょう。

次に、プリン体は、主に細胞のDNAや細胞のエネルギー源であるATPに含まれています。したがって、細胞数の多い食べ物、レバー、魚卵（たらこ、白子）、魚の干物、もも肉などを控えるようにしましょう。

果糖は、砂糖や果物に含まれる糖です。果糖は肝臓で分解されるときATPを消費するため、尿酸の産生が増加します。

飲酒では、やはりアルコールが分解されるときATPが消費され、また、アルコールの分解によってで

きた乳酸は腎臓での尿酸排泄を抑制します。最近、プリン体フリーのアルコール飲料がありますが、アルコールが入っているので尿酸値は上昇します。

運動では、適度な有酸素運動は尿酸を下げますが、激しい運動、無酸素運動はATPを消費し、乳酸を生ずるため尿酸が上昇します。慢性腎臓病は尿酸の排泄が低下し、血中尿酸が上昇し、高尿酸血症が腎臓病をさらに悪化させるため、悪循環に陥ります。

適度な運動、過食を控えて生活習慣の見直しを

高尿酸血症は尿酸産生過剰型と排泄低下型、混合型

に分類されます。治療は上記の原因を取り除くことですから、減量、プリン体の多い食事、果糖、飲酒を控え、適度な有酸素運動を行いましょう。

薬物療法では、近年尿酸の生成を抑制する新薬が出て、病型に関係なく尿酸生成抑制薬を中心に使用し、尿酸排泄促進薬を併用し、血中尿酸値6mg/dlを目標に治療します。尿酸値の急激な減少は痛風発作を誘発することがあるため、注意が必要です。

新型コロナウイルスで家にこもりがちになりますが、過食、飲酒を控え、適度な運動をして高尿酸血症、痛風を予防しましょう。

